

# 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価結果

このこのリーフ亀戸 2023年3月実施

## 環境・体制整備

利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

は い | ・パニックになった子が落ち着ける部屋があるといい。

職員の配置数は適切であるか

は い | ・体調不良などで、児童数と職員の数があっていない時がある。  
・欠員時には、人員募集で改善し対応している

事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

どちらでもない | ・中2階に入口があり、階段による昇降が必要である。  
・トイレに行くまでに段差がある。

## 業務改善

業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか

は い | 定期的に意見交換をし、非常勤職員にはフォローアップで情報共有を努めている。

保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

は い | 重要な事柄は、申し送りを行い共有している。

この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

は い | 今後も継続的に公開予定

第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

いいえ | 必要に応じて検討していく。

職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

は い | 内部研修のほか、外部研修にも積極的に参加している

## 適切な支援の提供

アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか

は い | 計画通りにいかないこともある

子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

は い |

活動プログラムの立案をチームで行っているか

は い | 職員それぞれの得意なものを活動プログラムに組み込むようにしている。

活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

は い | 運動系プログラムを今後も改善したい

平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか

は い | ただし、日によって課題に十分に対応できないときがある

子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか

は い |

支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

は い | ・利用者の送迎開始前にMTGを実施している。  
・長期休暇期間は臨機応変に対応している。

支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

どちらでもない | ・当日にシフトにいないスタッフのために申し送りメモを残している。  
・共有すべきことは社内アプリ、LINEでも共有している

日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

は い | ・共有すべきことは社内アプリ、LINEでも共有している

定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか

は い |

ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか

は い |

## 関係機関や保護者との連携

障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

はい |

学校との情報共有(年間計画 | 行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか

はい | ・ダブルチェックを継続的に行っている

医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているかどうか  
どちらでもない | ・医療的ケアが必要な子どもの受け入れを行っていない

就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

どちらでもない | ・情報共有、連携を予定している

学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか

どちらでもない | ・現在、該当者がいない。

児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

どちらでもない | ・情報共有、連携を予定している

放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

どちらでもない |

(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか

どちらでもない | ・常勤スタッフで情報収集に努め、他事業所と情報交換を行っている。

日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

はい | ・連絡帳やLINEを通じて必要に応じて共有している

保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか

どちらでもない | ・保護者との個別対談を通じて支援を行っている

## 保護者等への説明責任等

運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

は い |

保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

は い |

父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

どちらでもない |

子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

は い |

定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

は い |

個人情報に十分注意しているか

は い |

障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

は い |

事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

どちらでもない | 今後企画していきたい

## 非常時の対応

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

は い | 策定し職員研修で周知しているが、保護者への周知は徹底されていない面がある。

非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

は い | ただし、改善点が必要なため仕組みづくりを要する

虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

は い | 今後も定期的に実施予定。参加できなかったスタッフにもフォローアップを行っている

どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか  
は い | 現在、身体拘束を必要とする児童がいない。

食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか  
は い |

ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  
は い | 作成を行い、社内用のアプリで共有を図っている